

## オーディオ実験室収載

### モーツアルト盤を聴く(122)(HP 収載) —最新アナログシステムでの試聴(122)—

#### 1. 始めに

前報(121)に引き続き、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を最新アナログシステムで試聴していきます。

#### 2. モーツアルトのアナログ盤の試聴方法

モーツアルトのアナログ盤の由来およびアナログシステムの状況は前報(1)のとおりです。今回は、LINN LP-12 を使用します。

試聴システムは仮想アースに加えて、スピーカーアキュライザーSPA-7 が加わっています。さらにスピーカーアキュライザーの接続をバナナプラグに置き換え、電解コンデンサーを追加し、電磁波吸収テープ NRF-005T をバナナプラグに巻いています。音源は、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を使用していきますが、今回はパントマイム用の曲です。

##### Jecklin 245

モーツアルト Musik zu einer Faschingspantomime

Wilhelm Keitel 指揮 Ensemble 85

#### 3. モーツアルトのアナログ盤の試聴結果

Jecklin 盤ということで、TELDEC、逆相、第4時定数 High で聴いていきます。

Faschingspantomime というのはよく分かりませんが、仮面をつけたパントマイムのように、そのための音楽らしいです。

どうやらユーモラスな動作をするパントマイムのように、曲も軽快でユーモラスな表情を見せています。演奏は切れがよく躍動的なものです。

#### 4. まとめ

ターンテーブルアキュライザー、ダンパーフレーク、Crystal E、スピーカーアキュライザーなどの総合的な効果により、上記の音楽の特徴がよく把握できます。

以上/